
愛した貴方へ

yuris

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】
愛した貴方へ

【Nコード】
N8619S

【作者名】
yuris

【あらすじ】
できるならば、永久に貴方のもとに。

『拝啓 佐々木京介先輩へ

先輩が私のもとを去ってから、早二週間が経ちました。先輩が消えてから授業は耳に入らず、部活は身が入らず、叱られてばかりの日です。

私のクラスも先輩のクラスも、この世界は何も変わりません。先輩がいなくなっても地球は変わらず回っているのです。

だけど私だけ、まるで時間が止まってしまったようで。世界が色褪せてしまったようで。

可笑しいですね、先輩が遠くへ行っただけなのに。こんな私って変でしょうか。

私のクラスは相変わらず騒がしいです。変わったことといえば、友達が最近バスケット部の先輩にメロメロだということです。前まで京介先輩にきゃーきゃー言っていたのに。

前は先輩をそんな目で見るなと思っていたのですが、心移りの早い友達が憎らしくすら感じているのです。

でもなんだか、先輩が捨てられたような、そんな気がしてしまうのです。そんなはずないというのに。

先輩。先輩は、私が貴方のもとへ付き従うことを許してくださいませか。隣に立つことを笑顔で迎えてくださいますか。

もし先輩が笑顔で許してくださるのなら、ずっと先輩のお傍にさせて頂きたく存じます』

「……よし」

手作り感満載なお墓にそつと手紙を添えて、彫られた文字を指でなぞる。

それは私が生涯愛し、理解したヒトの名前。忘れられぬ日々を与えてくれたあのヒトの名前。

そしてその隣は、私が一番よく知る人物の名前こそ相応しい。

「先輩。今、参ります」

許してください、先輩。私の一番の幸せはこれだと、そう思うのです。

私は多分、その時涙を流していた。

そして自らの胸にナイフを突き立てるのだ。

（それは果たして私の幸せですか？）

（それは私が望んだことですか？）

そんなの、愚問だ。

（後書き）

中学校の入学試験の点数が悪くてパソコン禁止令が下されてしまった…！というわけで父の携帯から投稿しています。

最近小説書いていないので家で暴れています（禁断症状？）

久々の投稿ですので、腕が鈍っているやもしれません。元々文才はありませんが…。それでも感想、どしどしお待ちしております！もちろん誤字脱字などの指摘も大歓迎です。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8619s/>

愛した貴方へ

2011年10月8日20時52分発行